

にぎやかな広場
<ul style="list-style-type: none"> ・イスを固定しないで多目的空間として使えるようにする ・まちなか広場と連続した空間 ・広場にカフェのオープンテラスがある ・緑があふれている外部と内部が一体化している
交流
<ul style="list-style-type: none"> ・本の市 既読の本を持ち寄っての交換（無料）コーナーを作ったら ・趣味を語り合える場所を作る→幅広い年齢層の交流 ・趣味、能力の開発（自己啓発） ビジネスなどテーマを決めて読書会を開催する部屋がある ・本の感想などで発表出来る場
BGM
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを持ち込んで仕事をしているので携帯電話が鳴ったりキーボードの音も許される空間がある ・おしゃべりしても邪魔にならない雰囲気の場所 ・子どもが走り回っても許される空間がある ・入りやすい空間 カフェくらいの騒音を許容する 作業効率を上げる為にカフェの音を流す ネット上のサービスすら存在する ・空間の特徴に合わせた音楽が流れている ボリュームも場に合わせて ・子どもと読み聞かせができるスペース ・話し合いができるスペース ・ミニコンサートができるスペースがあったらいいね！
建築
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか広場側を人々の対話スペースに、駅前大通側を本との対話スペースにする ・自然素材（木、竹、貝等）をふんだんに使った空間が欲しい ・館内の木材は東三河の素材を使用する ・什器類は地元産素材で作製する ・東三河のそれぞれのイメージを体感できるゾーニング
落ち着く、いやし空間
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前大通り側に読書スペースを置き、外から本を読む人々が見えるようにする ・空が見えるオープンエアのスペース ・窓がたくさんあって、解放感があるスペース（窓にはUV加工） ・木々の緑や鉢植えの花を配置
快適空間
<ul style="list-style-type: none"> ・背の低い本棚が中心で全体が見渡せる空間 ・上品なイスがありゆったりできる空間 ・建物内の他の施設の活動が伝わってくる空間 ・日差しが入り、まちなか公園とか市電が見れる部屋がある ・画廊のような雰囲気、絵とか焼き物等展示ができる ・本を読める空間はいろいろなバリエーションで多数あると良い（机といす、ベンチ、個別ブース、畳） ・軽く昼食が食べれるようなスペース ・疲れた人のためにマッサージ器があり、身体がいやされるスペース ・リクライニングシートがあって昼寝ができるスペース
サービス
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てなどで悩んでいる人のための相談コーナー 例えば週一回予約制 ・朝はモーニングサービス、昼はランチが食べられる、レストラン併設がある！ ・利用する度にポイントがたまる
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土を知るといって各所、旧蹟、特産品を映像で見られる ・まちなか広場で図書館挙式を挙げられるようにする ・図書館を地域のコミュニティにする ・地元の企業、人を知るためのワークショップイベントの開催 ・就学前児童をココニコに誘導する、小学三年生くらいを境にちょっと大人向けのまちなか図書館に来るようにする 小さな卒業体験
感想
<ul style="list-style-type: none"> ・ハードもいいが、ソフトとそれをまわせる人材が大切 ・中央図書館とは機能も空間構成も違う特徴を出していきたい ・前回よりステップアップした意見があり、少しずつ練られていると思います。 ・子どもたちに着眼点を置くのは良いと思った。それによって子連れの親が気軽に使えるようになることは将来の自分にとっても良いと思ったから